

## 分散した職場を保護する

オフィスロケーションを問わずすべてのリクエストを、一元化した単一コントロールプレーンで一貫して保護

### セキュリティをクラウドへ移行

#### Cloudflareで簡素化しオフィスへのリスクを低減

現在、オフィス勤務とリモート勤務の従業員がいる多くの企業が、オフィスのセキュリティ対策を見直しています。データセンターの装置に頼るか、セキュアでないインターネット直接アクセスを認めるかを、改めて検討しているのです。

新たに重視しているのは、オンネットとオフネットのユーザーすべてに対し、一貫した保護とユーザーエクスペリエンスを提供することです。これは多くの場合、制御をVPN、Webプロキシ、ファイアウォールといった個別のツールから単一のクラウド配信型セキュリティプラットフォームへ移行することを意味します。

Cloudflareが見るところ、オフィスセキュリティの最新化は次の2つのユースケースで推進されています。

#### 推奨されるユースケース：

### VPNに代えてゼロトラストでアプリケーションアクセスを保護

企業ネットワーク内のラテラルムーブメントを許さず、アプリごとのきめ細かなID認識型ポリシーを適用します。

- **ステップ1:** お使いのIDプロバイダーと統合します。
- **ステップ2:** あらゆるWebアプリケーションをブラウザ経由で保護します。
- **ステップ3:** SSH、VNC、RDPの環境をブラウザ経由でセキュアにします。



支社オフィスとリモートでのアクセスを一度の実装にまとめて一貫したポリシーの適用を保証し、必要なベンダーの数を最少化する。レガシーVPNの強化手段または代替としてZTNAをデプロイし、レガシーテクノロジーへの投資を抑える。<sup>1</sup>

**Gartner**

#### 推奨されるユースケース：

### インターネットアクセスのフィルタリングにより、一貫した保護を提供し、早期に価値実現

まずDNSフィルタリングでオフィスユーザーを保護し、その後、全ロケーションでより包括的な検査を実施します。データセンター内のオンプレミス型セキュリティ装置にトラフィックをバックホールすることは、もうありません。

- **ステップ1:** DNSトラフィックをCloudflareのグローバルネットワークへ向けます。
- **ステップ2:** ロケーションベースのDNSフィルタリングをセットアップし、ランサムウェア、フィッシング、その他のインターネット上の脅威から保護します。
- **ステップ3:** HTTP、ネットワーク、ブラウザ分離のルールを適用してデータフローを制御し、無制限のTLS 1.3検査を実施します。



# 仕組み

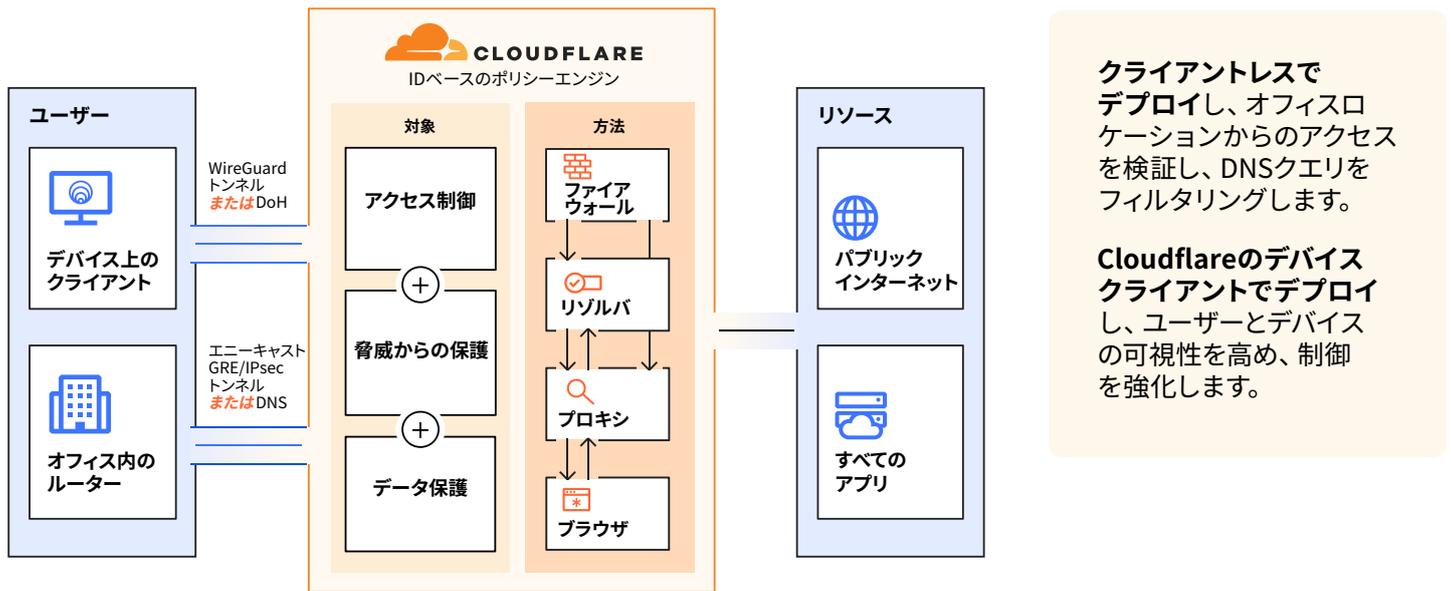


図1: Cloudflare Zero Trustで、オフィストラフィックの検証、フィルタリング、分離、シングルパス検査を実施

## ソースを問わず柔軟なオンランプ

まず、ネットワークルーター経由のDNS解決にCloudflareを使います。その後、お客様のGRE/IPSecトンネル経由または現在お使いのSD-WANルーティングの手法で、L3トラフィックを当社のグローバルネットワークへ送ります。

もしくは、マネージドデバイスでのDNSやHTTPのフィルタリングと検査にCloudflareのクライアントをデプロイします。

## 迅速なポリシー適用、グローバルな拡張を想定

セキュリティ、パフォーマンス、信頼性の機能はすべて、100か国以上、275か所以上に配置された全データセンターの全サーバーで稼働するように構築されています。

当社のネットワークは規模が大きいため、オフィスやエンドユーザーの所在にかかわらず、そこに近い場所で迅速にシングルパス検査を行い、保護を適用します。

## 今後半年から1年で検討すべき他のユースケース



### SaaSアプリの制御を回復

従業員がオフィスや自宅で使うシャドーITのリスクを検出し、軽減します。

同じ単一のCloudflareダッシュボードで有効化されたCASBポリシーを適用し、データ漏洩やコンプライアンス違反を防止します。

[その仕組みはこちら。](#)



### MPLSトラフィックをオフロード

古くて遅く高コストのプライベートMPLS接続にとって代わります。

Cloudflareのグローバルネットワークを使ってレガシーWANアーキテクチャを簡素化し、支社オフィス、データセンター、パブリッククラウドサービスのトラフィックを管理します。

[その仕組みはこちら。](#)

1. Gartner Hype Cycle for Network Security, 2021 | GARTNERとHYPER CYCLEは、Gartner, Inc. およびその関連会社の商標とサービスマークとして米国国内登録および国際登録されており、本書では許可を得て使用しています。All rights reserved.